技術資料＃78

インフォメーション

用語辞典

Air Wash （空気洗浄）：一次空気は炉内に添って入りながら熱され、ドアガラスの上部から炉内へ流入します。熱いガラス面をなめるように一次空気が一定に「洗浄」し、すすとクレオソートがガラスに付着しないようにする機能

Alcove（凹所）：リビングのビルトインエリア

Back drafting(back puffing)：機器の排気システムにおいて、フロー方向が逆に転じること。

BTU（英国熱単位）：１パイントの水を華氏１度上げるために必要なエネルギー量

Carbon Monoxide（一酸化炭素）：有毒ガス（燃焼の副産物）

Cast Iron（鋳鉄）：多くのストーブに使用される。鉄を熱し液体にしたものを型に流しこむ。

Catalytic Combustor(触媒方式の燃焼器)：燃焼排ガス排出量を削減するために使用される上塗りを施した陶器の「ハチの巣」

Chimney Connector（煙突コネクター）：燃焼機器と煙突を接続するパイプ

Class”A”Chimney:1000℉（2100℉に10分間）の温度に耐えられるテストをパスした煙突。その商品にはタイプＨＴのラベルが付けられている。固体燃料燃焼機器の煙突にはこのタイプの煙突を用いる必要がある。

Close Clearance Stove Pipe:内部の煙突と外部の煙突の間に空間を設けた二重パイプ。クリアランスの縮小の目的のため、シングルパイプの代わりにコネクターとして使用する。

Combustible Material(可燃物)：木製、製紙、植物性繊維、プラスチック等の点火し燃えることができる材料。

Convection（対流）：空気が熱されたことによって起こる伝導。熱された空気は上昇し循環する。

Creosote(クレオソート)：木煙（タール、水蒸気、すすを含んだ）が濃縮され、煙突とコネクターに付着したもの。クレオソートは多くの場合、最初は液状で、乾くことによってフレーク状や固形に変化する。

Depressurization(negative Pressure)（減圧・負圧）：家の中の気圧が家の外側の気圧未満である条件。減圧は送風機付家電やキッチン・バスの排気ファンの使用によって引き起こる場合がある。減圧はバックドラフト等の原因となり、この減圧は新しい住宅（気密性のよい）では一般的である。

Double Heat Exchanger：ヒートエクスチェンジャー（熱交換器）とは、内部からの熱を早く部屋へ転送することを助ける機能。多くのストーブは単一の熱交換機能を備えていると言え、ハーストーンベニントンは第二の熱交換器を備えているという点で独特。ベニントンは対流式のストーブであり、第一の熱交換機能は炉を囲む対流室で、第二の熱交換機能は重量のある鋳鉄製のジャバラ状熱交換器

を一層目の上部に取り付けることで、多くの対流空気を作成し部屋へ送る機能。結果として最大出力を増加させている。

Draft:煙突内の熱い燃焼排ガスと、外部煙突を取り巻く大気間の圧力差。

EPA Phase Ⅱ：1988年に米国の連邦政府が薪ストーブからの煙に含まれる微粒子の量の基準。その第2段として1992年7月1日以降に製造されたストーブはすべて、1988年の時点より厳密な基準を満たしている。

Factory-Built Chimney（工場で製造された煙突）：リスト（認定）された工場で製造された煙突。組み立てが容易で、安全性および建築法規に合致している。

Factory-Built Fireplace（工場で製造された暖炉）：リスト（認定）された工場で製造された暖炉。

Fireplace Insert:既存の暖炉（築炉）にインサートする目的でデザインされた機器。

ガラス：ハーストーンで使用されているガラスはただのセラミックガラスでなく、技術的に優れガラスです。2000℉でも耐久性に変化はなく、急激な温度変化に耐える。

Heat Life(ヒートライフ):ストーブが燃料の積載量を燃焼後、ストーブが放熱し続ける時間の長さ。

Hearth Extension：薪ストーブを設置する前に、ストーブに見合った面積を保護するため、不燃材で床を仕上げること。

Listed:設備、材料、サービス

Masonry Chimney（石造りの煙突）：レンガ等で造られた石細工の煙突。石細工の煙突は通常、煙道のライナーも粘土で造られている。

Negative pressure(負圧)：負圧の項を参照。

NFPA 211:National Fire Protection Agency standard#211, Standard for Chimneys, Fireplace, Vents and Solid Fuel-Burning Appliances 2000 Edition.

Non-catalytic Stove(非触媒方式のストーブ)：触媒を使用せずにEPA PhaseⅡをパスしたストーブ。非触媒方式のストーブは燃焼室上部バッフルの下に第二の気管を持っていて、これらのチューブは正確な量の熱した空気を引き、炉内にそれを注入し、煙が炉内から排出される前（二次燃焼中）に煙中の粒子を再度燃焼させる。触媒方式の燃焼室を備えたストーブより通常それほど高価ではなく、ストーブ操作も簡単で、メンテナンスも少なく、より少ない薪の量から多くの熱を生産する。

Noncombustible Material(不燃性材料)：点火しない、燃えない、火や熱を加えても、燃焼あるいは水蒸気を発生させない材料。

Soapstone(ソープストーン・石鹸石)：非常に安定した変性岩は極度の熱と圧力の下、何百年という年月を経て作られます。他の石と異なりソープストーンは直接炎が接触しても、割れることなく温度変化に耐える。ソープストーンは他の合成物よりその質量によってより多くの熱を吸収し、火が消えた後も吸収された熱を時間とともに優しく放出する。薪ストーブの素材として使用したとき、優れた材料となることができる素材。

Water Column(W.C.):ガス圧力の測定ユニット。およそ28インチのウォーターカラムは１ポンド/1平方フィートと等しい。

Zero-clearance fireplace: Factory-Built Fireplaceを参照。